

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日: 2022年8月23日

所属学部／研究科・学科／専攻	理工学部応用化学科
留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: カリフォルニア大学バークレー校 現地言語: University of California Berkeley
留学期間	2022年5月～2022年8月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	2年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	経済学部・理学部 <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2022年8月20日
明治大学卒業予定年	2025年3月
留学先大学について	
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1 学期: 8月中旬～12月 2 学期: 1月～5月 3 学期: 5月中旬～8月中旬(サマー) 4 学期: (記入例/1学期: 4月上旬～7月下旬, 2学期: 9月中旬～2月上旬)
学生数	45,057
創立年	March 23, 1868

留学費用項目	現地通貨 (\$)	円	備考
授業料	7500	円	10～11 単位、資料費など
宿舍費	5000	円	3ヶ月、食事券 120 回付
食費	4-20	円	一回の外食(平均\$15)、60回と計算する
図書費	0-100	円	インターネットで無料の教科書などがある
学用品費	0-50	円	日本から持っていくと節約になる
携帯・インターネット費	20/月	円	Mint Mobile (3か月キャンペーン)
現地交通費	0-20	円	バス無料(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	500-3000	円	娯楽の種類による値段が変わる
被服費	20-500	円	ブランドによる
医療費	0	円	病気などならなかった
保険費		36000円	形態: 明治大学のもの
渡航旅費		150000円	アジアナ航空 往復
ビザ申請費	600	円	インドネシア人だから日本人より高かった
雑費	1000	円	
その他		210000円	日本の滞在先の家賃
その他		800000円	明治大学の春学期の授業料
合計	18170	1196000円	

渡航関連

渡航経路
往路 出発地:東京(NRT) 目的地:San Fransisco(SFO) 経由地:韓国(ICN) 復路 出発地:San Fransisco (SFO) 目的地:東京(NRT) 経由地:韓国(ICN)
渡航費用
①往復チケットを購入した場合 航空会社:アジアナ航空 料金:約 150000 円
②片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社: 料金: 復路 航空会社: 料金: ∴合計:
航空券購入方法
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:) <input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名:Expedia) <input type="checkbox"/> その他()

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舍など)
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前:International House) <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ
2)部屋の形態
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数1(来ないので二人部屋で一人で暮らした))
3)共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊不可)
4)住居を探した方法:
先輩からのおすすめ、他の明治大学からの留学する学生と合わせる
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
世界中からの留学生が集まってくる場所だった。人間関係を広げるのにはぴったりだと思う。ごはんがパークレーで最もおいしいと言われる。他の国の留学生たちと仲良くなって、どこに行っても友達がいるようになった。他の滞在先より少し高いと思うが、サマーセッションだけならちょうどいい滞在先だと思う。寮内のイベントも多くて、毎週の水曜日にCoffee Hourというイベントがあって、Social Gathering の時間だった。

現地情報

1)留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院, 学内の診療所)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(治療を受けた場所:)
2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。(例:留学先大学の相談窓口, 現地の友人等)
<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり(問題の内容や相談した人等:深刻な問題でなければ、現地の友達に頼っても大丈夫だと思う)
3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?
噂によるとパークレーは結構危ない場所だったが、実際に行ったら、私的には安全な場所だと思う。しかし、貴重品などはしっかり見守って、日本のスターバックスのように財布などは置いていかないで、責任をもって行動すると何もならないだろう。さらに、日が沈んだら一人の外出はおすすめしない。当時は犯罪などに巻き込まれることがなかったのでアドバイスすることができない。
4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)
寮に入るときはインターネット接続が不安定で初期設定が難しかったが、そのあとは接続の問題あまりなかった。学校のインターネットも同じ、初期設定が少し面倒だったが、そのあとは何の問題もなかった。
5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)
デビットカードやクレカを使う場面が多いので、現地の銀行口座を開設すると日本から VISA や MasterCard のクレカを作ったほうがいい。Chase 銀行や Bank of America なら学生のChecking口座があって、手数料など \$0 だった。
6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。
化粧品などは日本から持って行ったほうがいい。みそ汁やお茶などはアメリカでも購入できるが、値段が日本の 2-3 倍ぐらいなので、日本から持っていくべきものだと思う。
7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)
2つの方法があって、クレジットカードで決済する、または、国際振り込みという形で授業料などを支払う。その二つが最も便利で、特に、振り込みで支払えば、授業を落とすとき、現金で返金される(cheque)。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計		本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
11 単位		<input checked="" type="checkbox"/> 5単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限		
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() ・履修の制限はありましたか？		
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人々へのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。		
履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
UGBA 155 Leadership		リーダーシップ
科目設置学部・研究科	HAAS(ビジネススクール)	
履修期間	セッション A(5 月中旬ー7 月上旬)	
単位数	3	
本学での単位認定状況	1(未定)単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	ゼミ(チュートリアル, 講義形式等)	
授業時間数	1週間に 90 分が3回	
担当教授	Daniel Mulhern教授、	
授業内容	この授業を通して、自分にぴったりのリーダーシップのスタイルが見つけれられる。リーダーと権力をもつ人の違いを学び、権力の正しい使い方を学ぶ。授業の真っ先に自己分析があって、MBTIによる自分を心理学的に分析することができる。さらに、他の人の話をしっかり聞き取り、Constructive Feedback をあげることが学べる。ビジネスの例が多いが、一般的なリーダーシップなので、誰でも履修できる授業だった。	
試験・課題など	2 回クイズ、3 つ 6 ページ程度のレポート、自己分析などのレポートは 2-3 つ、任意の個人/グループ課題と最終レポート(10-12 枚)。さらに、毎日 40-60 ページの読み物がある(無理だったら読まなくてもよいが、読んだら授業にの理解度が上がる。)	
感想を自由記入	様々な学生と接触できて、クラスが小さいので他の学生と仲良くなりやすい。ディスカッションとレポートがあるので、英語の勉強にもなれる授業だと思う。サマーセッションのリーダーシップクラスは現地生だけではなく、留学生がいっぱいいるので、アメリカ以外の国の友達も作れる。課題は多いと思うが、無理ではない、強い意思があれば勉強はうまく進んでと思う。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
Chemistry 1A		化学 1A(基礎化学)
科目設置学部・研究科	Department of Chemistry	
履修期間	セッション C(6 月下旬ー8 月中旬)	
単位数	3	
本学での単位認定状況	2(未定)単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)	
授業時間数	1週間に90分が4回	
担当教授	Chem 1A→Mark Kubinec教授、	
授業内容	② Chemistry 1A は基礎化学を学ぶ、応用化学科の学生以外なら、基礎化学のシラバスと同じが、応用化学科の学生であれば、島村教授の授業より質があると思われる。	
試験・課題など	② Chemistry 1A は毎回の授業の宿題(期限はファイナルテストと同じ、何回やっても良い)、3 回の中間テスト、と期末試験だった。	

感想を自由記入	化学に興味がある方にはびったりだと思う。内容の難易度はあまり高くないので、気軽に単位取れると思う。
---------	---

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Chemistry 3A	化学3A(有機化学1-2)
科目設置学部・研究科	Department of Chemistry
履修期間	セッション C(6月下旬-8月中旬)
単位数	3
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に90分が4回
担当教授	Chem 3A →Pete Marsden 教授
授業内容	Chemistry 3A の内容は有機化学 1 と全く同じ、単位認定されやすいと思われる。
試験・課題など	Chemistry 3A は授業終わりの小さな課題、2 回の間テスト、と期末試験だった。GSI(院生)が行われる追加の授業や説明会などがある、そこに参加するのをお勧めする。
感想を自由記入	院生が行う勉強会などに参加すると点数が高くなり、授業に理解度も上がる。応用化学科以外の方にはあまりおすすめしない。難易度が高め授業である。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Chemistry 3AL	化学3AL(3Aの実験授業)
科目設置学部・研究科	Department of Chemistry
履修期間	セッション C(6月下旬-8月中旬)
単位数	2
本学での単位認定状況	0単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	実験(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に240分が2回
担当教授	Chem 3A →Pete Marsden 教授
授業内容	Chemistry 3AL は基礎の有機化学の実験だった。
試験・課題など	Chemistry 3AL は授業の前に Pre-lab という課題とノートの作成の課題があり、実験の後はデータの提出と考察の提出がある。さらに、期末試験がある(そんなに難しいと思う)。
感想を自由記入	楽しかった。実験の勉強に役に立つと思う。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要)
<input type="checkbox"/> 就職 <input checked="" type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に活用したウェブサイト, 書籍, 機関など
友達や家族に相談したり、教授に相談したりしていた。
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前,あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界, 職種等を教えてください。
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例:留学中の就職活動へ向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
未定だが、バッテリーの生産に関係を持っている大学院がいいと思われる。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備, 試験対策等)をお願いします。
勉強だけでなく、人間関係を広げてください。そこから様々な機会が生むはず。
7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備, 試験勉強, 留学中, 留学後, 特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例:語学試験の勉強, 選考, 出願, ビザ申請・取得, 航空券購入, 予防接種, 滞在先の確保, 留学中の中間試験, 期末試験, その他イベント等

留学開始年の前年	1月～3月	日本語学校から卒業
	4月～7月	明治大学に入学
	8月～9月	明治大学で授業受けていた
	10月～12月	留学の情報が手に入って、参加することを決めた。
留学開始年	1月～3月	書類の準備、資金などを探し、様々な人と相談した。
	4月～7月	5月上旬まで明治大学の授業を受けながら留学の準備をした。
	8月～9月	—
	10月～12月	—
留学/帰国年	1月～3月	—
	4月～7月	5月—8月アメリカに留学してきた。
	8月～9月	帰国し、留学後の書類を作成した。
	10月～12月	未定

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。